

学習発表会



1年生のオペレッタ「なんじゃもんじゃのいのち」



6年生の演劇「朝は来ていたのに」

11月1日、世田米小学校（多田茂校長）で学習発表会が行なわれました。
学習発表会が初めてとなる1年生はオペレッタ（軽歌劇）「なんじゃもんじゃのいのち」を緊張しながらも楽しい歌や踊りを披露し、観客から大きな拍手を受け会場を盛り上げていました。

11月8日、有住小学校奥山幸子校長）で統合後初めてとなる学習発表会が行なわれました。
小学校生活最後の学習発表会となる6年生が演劇「朝は来ていたのに」を披露し、人の命の大切さをテーマに戦争の空しさを表現し、会場からは惜しめない拍手が送られました。
また、保護者や教職員による余興も行われ、生徒も一緒に「崖の上のポニョ」を歌い楽しい時間を過ごしました。

日頃の学習や練習の成果を披露 学習発表会・文化祭

町内の小中学校で「学習発表会」や「文化祭」が盛大に行われました。

文化祭

10月25日、世田米中学校（阿部正校長）で文化祭が行われました。
4つのオムニバス（短編劇）「世にも不思議な物語」を披露した3年生は生と死をテーマに、生徒たちは時にはシリアスに、時にはコミカルに演じわけ、観衆をわかせていました。



3年生のオムニバス「世にも不思議な物語」

11月1日、有住中学校小畑耕一郎校長）で文化祭が行われました。
原子爆弾を投下される広島を舞台に、現代の東京の中学生がタイムスリップし戦争を体験する物語「リトルボーイズカミング」を演じた3年生は、友情や親子の絆とおして、戦争の悲惨さをつたえ、難しいテーマを見事に演じました



3年生の演劇「リトルボーイズカミング」

ふるさとの森から学ぶ 間伐体験

11月10日、八日町の町有林で有住中学校（小畑耕一郎校長）の2年生が間伐体験をしました。

この間伐体験学習は青少年の林業に対する理解を深めるとともに、ふるさとの森から様々なことを学ぶ機会を設け地域に根ざした森林教育の充実を図ることを目的として行われました。

はじめに間伐体験の講師8人を紹介し、多田裕一産業振興課森林林業日本一の町づくり係長が木を切るための道具の使い方や作業中の安全確認、間伐をするこ



玉切り作業をする生徒（有中）



講師の作業を見て学ぶ生徒（世中）

とで得られる効果やその必要性などをクイズ形式で問題を出し、生徒たちは問題に正解すると歓声を上げるなど楽しく学びました。
続いて各班に2人の講師がつき4班に分かれそれぞれ山に入り、講師の指導のもと生徒は慣れない手つきでスギの間伐作業を行いました。

が玉切り作業まで行い、記念として持ち帰りました。
全ての作業が終了し各班の代表者が感想発表を行い、講師が一人ずつあいさつをする、生徒たちが講師の方々に感謝のメールを送り、和やかな雰囲気の間伐体験は終了しました。
また、11月11日には野形の町有林で世田米中学校（阿部正校長）の2年生が間伐体験をし、作業を通してふるさとの森への理解が深まる一日になりました。

11月11日、町内の保育園や小中学校で「鮭の日」にちなんだ給食や体験学習が行われました。



サケの解体に歓声を上げる園児

秋の恵みに感謝〜鮭の日〜

あきめ、菅野憲教育長や関口昭大船渡地方振興局農林部長、水産課の職員などが来校し、「秋の恵み給食」を開催しました。

関口農林部長らは3年生の生徒たちと安全安心な県産食材を使用した給食を味わいました。

給食後は、水産課の職員が今朝獲れたばかりのサケを持参し、生徒たちにサケの生態を説明しながら解体作業を行い、生徒たちは水産課の職員の話聞き、質問をするなど真剣に見学していました。

世田米保育園（佐賀篤園長）では「寒太郎給食」を開催し、園庭でサケの解体を体験し、サケのアラ汁に入れる野菜を切るなどお手伝いをしました。
昼食時には保護者と一緒に寒さに負けず外で元気にサケを使った料理を楽しみました。



関口農林部長を囲んでの給食